
人間関係学研究科の教育目標

人間関係学研究科臨床心理学専攻のめざすもの

心の問題に取り組み、解決に努めると共に、予防活動を展開できる人材を養成し、地域社会に貢献することを目的とします。そのため臨床心理学領域の専門的知識と技量、および豊かな人間性を有する人材を育成していきます。

<アドミッションポリシー>

- ・ 心理学の基礎的領域の教育を経て、臨床心理学に関する実践的かつ高度な専門的技量を培い、臨床心理学に関する研究を希求する人材を求めます。
- ・ 学校教育や病院臨床など実践経験を経て、さらに臨床心理学に関する専門的なりカレント教育を受け、臨床心理学に関する研究心を有する人材を求めます。
- ・ 旺盛な研究心と柔軟な心をもった人材を求めます。

<ディプロマポリシー>

- ・ 臨床心理学領域の幅広い学びを通して、心理療法の理論に関する全般的な理解ができます。
- ・ 多様な心理臨床現場において、必要な専門性と倫理をもち、実践することができます。
- ・ 心理臨床においてクライアントと信頼関係を結び、他機関等と連携をとりつつ実践することができます。
- ・ 行動力と創造性を発揮し、臨床領域での実践及び研究を深めると共に、豊かな人間性をもって地域貢献ができます。

<カリキュラムポリシー>

- ・ 心理臨床の基盤領域の学びを重視し、基礎科目（必修講義及び演習科目）における学びから確かな専門性を培う。
- ・ 心理臨床の技術的実践的学びについては、1年次及び2年次の必修実習科目、心理臨床センターでの内部実習、あるいは学外の契約施設での外部実習等において、心理臨床現場における実践力を養います。
- ・ 臨床心理学に関連する選択科目群の履修を通して、臨床実践及び研究に必要な知識を深めます。
- ・ 臨床心理学関連の修士論文の作成を通して、臨床心理士としての資質を形成します。